

学校読書活動の取組【福知山市立遷喬小学校】

1 実践のテーマ

「図書館を活用し、学び合える児童の育成」



2 学校の概要

本校は、明治6年石原村宝珠院に開設され、校名は詩経「出自幽谷遷宇喬木」とあるところから名付けられた。京都府福知山市の東部に位置し、綾部市に隣接している。北には由良川が流れ、南は長田野工業団地に接する。令和2年4月佐賀小学校と統合した。従来から農村地帯として教育環境は極めてよく、古くから体力づくり、根性づくりとして「遷喬魂の育成」が校是である。平成28年度～令和元年度まで図書館教育の研究を推進してきた。

令和2年度の在籍児童数は365名、特別支援学級2学級を含む14学級という規模の学校である。

3 実践内容

本校は、SLA研究発表校（平成30年度発表）に指定され、4年間図書館を活用し、児童がいきいきと伝えあえる力を育成することをテーマに、図書館教育の研究をしてきた。ここでは特に、児童の読書活動を豊かにする取組について紹介する。

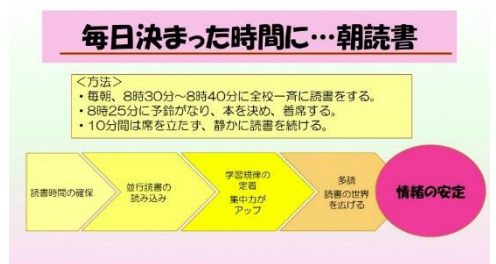
(1) 図書館ガイダンス

- ・ 図書室の使い方・配架を知り、自ら好きな本、目的に合った本を探す・返す力を付けた。
- ・ 毎年4月、全学年行うことで、図書室の使い方を定着させた。
- ・ ガイダンス内容はパワーポイントで作成。全学年同じ指導をした。



(2) 朝読書

毎朝決まった時間に朝読書をすることで、読書時間を確保し、読書の習慣を定着させた。集中力が高まり、児童の情緒の安定にも繋がった。



(3) 校内ビブリオバトル大会

朝読書の時間に校内ビブリオバトルを開催した。チャンプ本に選ばれるために、必死に本を選び、話し方を工夫しようとする児童の意欲が見られた。

＜方法：毎週木曜日、朝読書の時間に＞

- ① 図書の選定と発表内容を考える。
- ② グループでビブリオバトルをする。
- ③ 学級でチャンプ本を選定する。
- ④ チャンプ本に選ばれた本は図書室前に掲示する。

(4) 子どもの身近な所にいつも本を

- ・ 児童機の横に本袋を設置し隙間の時間にいつでも読書
- ・ 各階の小さな読書スペース「こもればミニ図書館」
- ・ 教室にたくさんの本を設置

（京都府立図書館のセット貸し出し、福知山市立図書館学校支援セット、移動図書館車を活用）



- ・ 友達とそっと寄り添いながら本で調べたり、話し合っって学習したりする姿がたくさん見られた。
- ・ 家庭の読書時間が少ないことが児童アンケートにより分かった。今後はPTAと連携をしながら、家庭での読書時間が増やせるようにしていきたい。

5 まとめ

本校では、研究を通して、いろいろな教科・領域で図書を活用しながら授業を進め、図書館活用能力を培ってきた。そしていつも子どもたちは本に囲まれ、様々な楽しい取組と共に読書の幅を広げてきた。子どもたちの学習意欲や知識の源にはいつも学校図書館があり、教科や授業の枠を超えながら常に図書と触れ合ってきた。子どもたちは疑問を持った時、友達と調べたい時、ほっとしたい時に、自然に「そうだ、図書館に行こう」と、学校図書館を訪れた。遷喬小学校の子どもたちにとって、学校図書館はとても身近で楽しくて、知識欲にあふれる場になっている。今まで「図書館活用」で培ったノウハウは教員が変わっても引き継がれ、学校図書館が子どもたちの学習意欲を高める場として、また、自由な楽しい読書の場として機能している。今後も、学校図書館が子どもたちの人生を豊かにする場であり続けるようにしたい。

〈資料〉

資料①

家でも読もう！家族で読もう！！ 親子読書

いろいろな親子読書の仕方を提案

感想を伝えあう

同じ空間・時間で
それぞれ読む

テレビを消して
読む

子どもが
読み聞かせる

同じ本を
一緒に読む

お互いにお勧め
本を紹介する

親が子どもに
読み聞かせる

資料②

月に一度 図書室での話し合い 図書館会議

年間指導計画を見ながら、全学年で話し合う

→ どの学習で、どんな図書を活用するか

→ どの学年で、どんな図書を借りるか

→ 図書室はいつ、どのように活用するのか

6年	図書活用・授業など
単元計画	
仕事をしている人の話を聞こう	
漢字の広場4	<ul style="list-style-type: none"> ・戦争、平和に関する本(市) ・環境問題
生活の中の言葉	
【資料】	<ul style="list-style-type: none"> ・宮沢賢治の作品(府：並行読書)

全学年で話し合い、図書活用を共通理解する。借りる本や図書室利用が絞られないようにする。

カリキュラムマネジメント的視点を取り入れた 単元指導計画

教科横断的に単元指導計画を立てることで

- 単元の目標にあった図書の選定
(単元の初めには、自ら図書室へ行って選ぶ)
- 読書時間の確保
(朝読書・他教科時間にも並行読書や目標を達成するための活動)

資料③

教科学習の深まりが、多読や次の読書への意欲付けに

どの教科でも
図書館を活用
した授業がで
きる



学年	研究授業をした教科と単元			
1年	国語	図工	学活	算数
	じどう車くらべ	ごちそうパーティーをしよう	図書館ガイダンス	100までのかき
2年	生活	国語	生活	音楽
	いきものたんけんマップをつくらう	お話クイズをしよう	うごくうごくわたしのおもちや	音をあわせて楽しもう
3年	総合	道徳	国語	国語
	お茶はかせになろう	祝日にこめられた意味	食べ物のひみつを教えてください	ありの行列
4年	理科	理科	体育	総合
	夏の星座	ヒトの体のつくりと運動	走り高跳び	環境を守るために
5年	家庭科	図工	国語	家庭科
	食べて元気に(味噌汁の調理)	何をかいているのかな?(鑑賞)	グラフや表を用いてかこう	やってみよう家庭の仕事
6年	社会	体育	社会	社会
	江戸の社会と文化・学問	体づくり運動	アジア・太平洋に広がる戦争	新しい日本へのあゆみ

資料④

教科指導で広がる 読書の世界